

令和5年度

第65回神奈川県高等学校新人陸上競技大会要項

主催 神奈川県高等学校体育連盟

(一財) 神奈川県陸上競技協会

後援 神奈川県教育委員会

※新型コロナウイルスの対応策について

本大会では、神奈川県陸協HP内の「新しいコロナ対策」と「高体連陸上競技専門部」のリンクに掲載されている「競技会開催に伴う新型コロナウイルス感染防止対策と対応について」に基づき競技会運営を行います。大会参加者の皆様は、必ず事前にお目通しいただき、感染症対策を徹底したうえでのご参加をお願い致します。

また、今後の内容の更新に当たり、大会要項を変更する可能性があります。予めご了承ください。

なお、参加者の健康チェックは昨年と同じ方法で行います。同じく神奈川県陸協のHPからダウンロードできる別紙1、2を回収し集約のうえ参加状況報告書1枚（別紙3）を本部に提出してください。

1 期 日	令和5年 9月16日 (土)	9時30分	競技開始
	9月17日 (日)	9時30分	競技開始
	9月23日 (土)	9時30分	競技開始
	9月24日 (日)	9時30分	競技開始
2 会 場	横浜市三ツ沢公園陸上競技場	横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1	TEL 045-548-5147
3 種 目	男子 21種目	100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 110mH(1.067m/9.14m) 400mH(0.914m/35.0m) 3000mSC 5000mW 4×100mR 4×400mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投(6.000kg) 円盤投(1.750kg) ハンマー投(6.000kg) やり投(0.800kg) 八種競技	
	女子 20種目	100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 100mH(0.838m/8.50m) 400mH(0.762m/35.0m) 5000mW 4×100mR 4×400mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投(4.000kg) 円盤投(1.000kg) ハンマー投(4.000kg) やり投(0.600kg) 七種競技	

- 4 参加資格
- ①選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
 - ②選手は、神奈川県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、神奈川県陸上競技協会の登録者であること。
 - ③年齢は平成17年4月2日以降に生まれたものであること。但し、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回に限る。定時制・通信制の生徒については、3年間で2回の出場に限る。
 - ④参加者は全日制1・2年生、定時制、通信制は1・2・3年生に在学するものであること。全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - ⑤再編統合対象校となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - ⑥転校・転学後6カ月以内のものは出場できない。但し、一家転住等やむを得ない場合は、神奈川県高等学校体育連盟陸上競技専門部長の承認があればこの限りではない。
 - ⑦参加する選手は、在学する学校長の出場許可を必要とする。
 - ⑧参加資格の特例
ア、上記①及び②に定める生徒以外で、競技要項により大会参加資格をみたと判断され、神奈川県高等学校体育連盟が認めた生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
イ、上記③の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は2回限りとする。

【別途に定める規定】

(1)学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、神奈川県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒である。

(2)以下の条件を具備すること

①大会参加資格を認める条件

ア、神奈川県高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ、大会参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ、各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失しておらず、運営が適切であること。

②大会に際して守るべき条件

ア、神奈川県高等学校新人陸上競技大会開催要項を遵守し、申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ、大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入するなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ、大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

5 出場制限 1種目1校3名以内。リレーは、1校1チーム6名以内とする。

同一人は2種目以内。リレー種目を除く。

[外国人留学生出場の場合に関する条件]

ア、学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学してくる生徒であること。

イ、在籍校が都道府県高等学校体育連盟に加盟していること。

ウ、年齢は、平成17年4月2日以降に生まれたものとする。

エ、短期留学は除く。

オ、人数については、男女それぞれ1校4名以内とし、1種目につき1名（リレーも含む）とする。

同一人は2種目以内。ただし、リレーに参加する場合には個人種目と合わせて4種目まで認める。

6 競技方法 ①学校対抗とし種目別入賞は8位までとする。

②合計得点により、男女別の学校順位を決定する（得点は1位8点、2位7点……8位1点）。

③その他は、令和5年日本陸上競技連盟規則および本大会申し合わせ事項による。

7 表彰 ①学校対抗8位まで、種目別8位までを表彰する。

②男女別優勝校には優勝杯を贈る。但し、持ち回りとする。

8 地区予選会 ①横浜地区（三ツ沢） 9月2日（土）9月3日（日）

川崎・中地区（県立スポーツセンター） 8月24日（木）8月25日（金）

西地区（城山） 9月2日（土）9月3日（日）

②各地区大会で、下記の上位入賞者は県大会の出場権を得る。

横浜地区（16名）川崎・中地区（17名）西地区（16名） 合計49名

※男女走高跳は、男子1m75、女子1m45の標準記録を突破した選手が県大会への出場権を得る。突破者が8名に満たない場合のみ各地区8名を上限に記録上位者から拾う。同順位で並んだ場合は決定戦を行う。

（注 1）シード権の行使については、別紙（顧問総会時配布）を参照のこと。令和5年度県高校総体8位入賞者が対象となります。

（注 2）混成競技については事前資格審査の後、24名が直接県大会に出場できる。（資格審査の欄参照）

- 9 申込方法
- ①申込期日 川崎・中地区8月9日(水)、横浜・西地区8月16日(水)
- ②申込先 横浜地区 〒232-0007 横浜市南区清水ヶ丘41
県立横浜清陵高等学校内 宮内あゆみ
- 川崎・中地区 〒248-0036 鎌倉市手広6-4-1
県立深沢高校内 靱山 和範
- 西地区 〒252-0303 相模原市南区相模大野4-1-1
県立相模原中等教育学校内 佐良土 雪野
- ③申込書類 (a) 学校長の参加申込書(一覧表)
(b) 混成競技資格審査用紙
(c) 申し込み完了の控え(コピー可)
- ④参加料 一人1種目1000円 リレー1種目1000円を申し込みと同時に振り込むこと。
- ⑤申し込み 申込書類をすべて同封のうえ、郵送のこと。
※競技順序・競技注意事項等はHPにて連絡します。

※今年度より全地区WEBサイトでの申し込みに変更となります。

各地区で配付される別紙資料を確認してください。

- (横浜) 口座番号 6090323 横浜銀行 いずみ野支店(328)
口座名 横浜地区高体連陸上競技専門部
- (川崎・中) 口座番号 0205774 **かながわ信用金庫** 大津支店(023)
口座名 中地区陸上専門部
- (西) 口座番号 6105939 横浜銀行 愛川支店(432)
口座名 高体連陸上専門部(西) 委員長 小林道徳

- 10 その他
- ①選手番号は令和5年度の登録番号とする。申込書類a, bの登録番号欄に記入すること。
- ②アスリートビブスは白地の布(横24cm固定×縦14~20cm)に黒字(縦10cm)で登録番号を記入したものを胸部・背部に着ける。(別紙の数字サンプル参照)
セパレートレーンを使うトラック種目に出場する選手は腰ナンバーを白地の布(横18cm×縦12cm)に黒字に登録番号を記入したものを各自で用意し、右腰に着ける。(別紙の数字サンプル参照)
オープンになるトラック種目については特別ナンバーカード、腰ナンバーを配布する。
- ③棒高跳用のポールは各学校持参のものを、検査を受けたうえで使用してもよい。投てき用器具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、指定時間までに個人物を検査のうえ使用出来る。検査を通じた用具は競技場用具と同じ扱いとする。
- ④競技場は全天候型である。ピンの長さは9mm以下、ただし走高跳・やり投は12mm以下。走路の保全と競技者の安全のために競技規則143条を参照。
競技用シューズの靴底については、WA規則第143条(TR5:シューズ)を守ること。
- ⑤**男三段跳は12mピット、女三段跳は9mピットを使用する。**
- ⑥**競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること**
- ⑦参加校は、補助員を1名以上必ず出席させること。
- ⑧前年度(第64回大会)に優勝杯を授与された学校は、9月16日(土)競技開始までに本部に返還すること。
- ⑨地区予選会のプログラム編成は、川崎・中地区8月14日、横浜・西地区8月23日に各地区専門委員で行う。(県大会のプロ編成は9月6日(水)県立横浜国際高校 予定)
- ⑩リレー競技・混成競技を除く各種目上位8位までの入賞者はその種目に限り2024年度の神奈川県高等学校総合体育大会(県大会)の出場権を、地区予選を経ずに得られる。
(県大会エントリー方法等については別に定める。)
- ⑪競技日程は神奈川県陸協のサイト内の高体連陸上競技専門部のリンクで確認できます。
- ⑫本大会の成績により10月21日~10月22日に埼玉県・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で行われる関東選抜大会に各種目3名(リレーは3チーム)を推薦する(混成競技は除く)。
申し込みは 9月27日(水) 県立横浜国際高校(予定)

《県大会競技日程》

- 第一日目 男女400m予・準・決、男1500m予・決、女1500m予、男3000mSC予
女5000mW決、男女4×100mR予
女走高跳、男棒高跳、男走幅跳、男やり投(0.800kg)、女やり投(0.600kg)、8種前半、
- 第二日目 男女100m予・準・決、男400mH(0.914m/35.0m)予・決、女400mH(0.762m/35.0m)予・決
女1500m・決、男3000mSC決、男女4×100mR決
女棒高跳、女走幅跳、男砲丸投(6.000kg)、女砲丸投(4.000kg)、8種後半、
- 第三日目 男女200m予・準・決、男女800m予・準、女3000m予、男5000m予
男5000mW決、男女4×400mR予
男走高跳、女三段跳、男ハンマー投(6.000kg)、女ハンマー投(4.000kg)、7種前半
- 第四日目 男女800m決、女3000m決、男5000m決、男110mH(1.067m/9.14m)予・準・決
女100mH予・準・決、男女4×400mR決
男三段跳、男円盤投(1.750kg)、女円盤投(1.000kg)、7種後半

混成競技の資格審査について

《混成競技標準記録》

男子(八種)		女子(七種)	
総合得点	3600点	総合得点	2600点
100m	12.44(12.2)	200m	28.94(28.7)
400m	55.14(55.0)	800m	2.50.00
1500m	5.05.00	100mH	19.24(19.0)
110mH	18.44(18.2)	走高跳	1m30
走高跳	1m60	走幅跳	4m30
走幅跳	5m70	砲丸投	7m50
砲丸投	8m50	やり投	23m00
やり投	35m00		

- ◆ 各種目の標準記録(得点)の有効期間は、令和4年4月1日～**令和5年8月3日**までに記録した公認記録とする。
- ◆ **事前に次の順番で参加資格審査と選考を行い24名が直接県大会に出場できる。**
 - ①一次審査として8種・7種ともに**総合得点をクリアーした競技者。**
 - ②二次審査として8種・7種ともに**3種目以上標準記録を上回る競技者。**
 - ③三次審査として8種・7種ともに**2種目の記録を得点化**し、その合計得点の上位の競技者。
- ◆ 申し込みが24人を超えた場合は次のように選考する。
 - ①一次選考で24人を超えた場合は総合得点の上位の者から24人が県大会に出場できる。
 - ②二次選考で24人を超えた場合は標準記録を超えている3種目を得点化し、その合計得点が上位のものから県大会に出場できる。
 - ③三次選考で24人を超えた場合は2種目の記録を得点化して、その合計得点が上位のものから県大会に出場できる。
- ◆ 各種目とも標準記録をクリアーした記録、大会名、期日を混成競技資格審査用紙に必ず記入すること。また、100m、200m、100mH、110mH、走幅跳の各種目の記録については風力を記入すること。
- ◆ 走高跳は標準記録をクリアーしている、していないにかかわらず記録を記入すること。公認記録がない場合は参考記録を記入すること。その際、記録の後に(参考)と記入。
- ◆ **事前資格審査は専用の「混成競技資格審査用紙のコピー」を県立金沢総合高校 片野まで郵送(速達等)で送ること。7月24日(月)～8月4日(金)必着**
〒236-0051 横浜市金沢区富岡東6-34-1 県立金沢総合高校 片野敦士 宛
※「混成競技資格審査申請用紙は25年度に書式変更していますので必ず確認下すること。」
- ◆ **資格審査後、県大会出場可否の連絡をしますので、出場が確定した場合は、「混成競技資格審査用紙の原本を申し込み書類と同封すること。」**

競 技 日 程

第 1 日 9 月 16 日 (土)

三ッ沢公園陸上競技場

9 時 30 分 競 技 開 始

ト ラ ッ ク 競 技							
順	競技開始時刻	種 目		種 別	招 集 時 間		
					組	招集開始	招集完了
1	9:30	男	100m	八種	1~3	8:55	9:10
2	9:45	女	400m	予7組3着+3	1~4	9:10	9:25
	5~7				9:30	9:45	
3	10:20	男	400m	予7組3着+3	1~4	9:45	10:00
	10:40				5~7	10:05	10:20
4	10:55	男	1500m	予4組3着+3	1~2	10:20	10:35
	11:15				3~4	10:40	10:55
5	11:35	女	1500m	予4組3着+3	1~2	11:00	11:15
	11:55				3~4	11:20	11:35
6	12:15	女	400m	準3組2着+2	1~3	11:40	11:55
7	12:30	男	400m	準3組2着+2	1~3	11:55	12:10
8	14:00	女	400m	決 勝		13:25	13:40
9	14:15	男	400m	決 勝		13:40	13:55
10	14:45	男	1500m	決 勝		14:10	14:25
11	15:00	男	400m	八種	1~3		14:50
12	15:20	女	4×100mR	予6組タイム	1~3	14:45	15:00
	15:40				4~6	15:05	15:20
13	16:00	男	4×100mR	予7組タイム	1~4	15:25	15:40
	16:25				5~7	15:50	16:05
14	16:45	男	3000mSC	予4組3着+3	1~2	16:10	16:25
	17:15				3~4	16:40	16:55
15	17:50	女	5000mW	決 勝		17:15	17:30
跳 躍 競 技							
1	10:30	男	走幅跳	八種	A Bピット		10:20
2	11:00	男	棒高跳	決 勝		9:30	10:00
3	11:00	女	走高跳	決 勝		9:45	10:00
4	13:00	男	走幅跳	決 勝	A Bピット	11:45	12:00
投 て き 競 技							
1	10:00	男	やり投(0.800kg)	決 勝		8:45	9:00
2	12:30	男	砲丸投(6.000kg)	八種			12:20
3	14:30	女	やり投(0.600kg)	決 勝		13:15	13:30

《検査時間》 男やり(0.800kg) 8:30~9:00
 八種砲丸(6.000kg) 11:30~12:00
 女やり(0.600kg) 13:00~13:30

競 技 日 程

第 2 日 9 月 17 日 (日)

三ッ沢公園陸上競技場

9 時 30 分 競 技 開 始

ト ラ ッ ク 競 技							
順	競技開始時刻	種 目	種 別	招 集 時 間			
				組	招集開始	招集完了	
1	9:30	男	110mH(1.067m/9.14m)	八種	1~3	8:55	9:10
2	9:50	女	100m	予7組3着+3	1~4	9:15	9:30
	5~7				9:35	9:50	
3	10:25	男	100m	予7組3着+3	1~4	9:50	10:05
	10:45				5~7	10:10	10:25
4	11:05	女	400mH(0.762m/35.0m)	予7組タイム	1~4	10:30	10:45
	11:25				5~7	10:50	11:05
5	11:45	男	400mH(0.914m/35.0m)	予7組タイム	1~4	11:10	11:25
	12:05				5~7	11:30	11:45
6	12:25	女	100m	準3組2着+2	1~3	11:50	12:05
7	12:40	男	100m	準3組2着+2	1~3	12:05	12:20
8	13:10	女	1500m	決 勝		12:35	12:50
9	13:40	女	400mH(0.762m/35.0m)	決 勝		13:05	13:20
10	13:50	男	400mH(0.914m/35.0m)	決 勝		13:15	13:30
11	14:10	女	100m	決 勝		13:35	13:50
12	14:20	男	100m	決 勝		13:45	14:00
13	15:30	女	4×100mR	決 勝		14:55	15:10
14	15:40	男	4×100mR	決 勝		15:05	15:20
15	15:50	男	1500m	八種	2		15:40
16	16:20	男	3000mSC	決 勝		15:45	16:00
跳 躍 競 技							
1	10:30	女	棒高跳	決 勝		9:00	9:30
2	11:00	女	走幅跳	決 勝	A Bピット	9:45	10:00
3	12:30	男	走高跳	八種	A Bピット		12:20
投 て き 競 技							
1	10:00	男	砲丸投(6.000kg)	決 勝		8:45	9:00
2	10:30	男	やり投(0.800kg)	八種			10:20
3	14:30	女	砲丸投(4.000kg)	決 勝		13:15	13:30

《検査時間》 男砲丸(6.000kg) 8:30~ 9:00

八種やり(0.800kg) 9:30~10:00

女砲丸(4.000kg) 13:00~13:30

競 技 日 程

第 4 日 9 月 24 日 (日)

三ッ沢公園陸上競技場

9時30分競技開始

ト ラ ッ ク 競 技							
順	競技開始時刻	種 目	種 別	招 集 時 間			
				組	招集開始	招集完了	
1	9:30	女	100mH(0.838m/8.50m)	予7組3着+3	1~4	8:55	9:10
	9:50				5~7	9:15	9:30
2	10:10	男	110mH(1.067m/9.14m)	予7組3着+3	1~4	9:35	9:50
	10:30				5~7	9:55	10:10
3	10:50	女	800m	決 勝		10:15	10:30
4	11:00	男	800m	決 勝		10:25	10:40
5	11:35	女	100mH(0.838m/8.50m)	準3組2着+2	1~3	11:00	11:15
6	11:55	男	110mH(1.067m/9.14m)	準3組2着+2	1~3	11:20	11:35
7	13:10	女	100mH(0.838m/8.50m)	決 勝		12:35	12:50
8	13:20	男	110mH(1.067m/9.14m)	決 勝		12:45	13:00
9	14:25	女	4×400mR	決 勝		13:50	14:05
10	14:35	男	4×400mR	決 勝		14:00	14:15
11	15:00	女	800m	七種	1~3		14:50
12	15:30	女	3000m	決 勝		14:55	15:10
13	15:50	男	5000m	決 勝		15:15	15:30
跳 躍 競 技							
1	10:00	女	走幅跳	七種	A Bピット	9:15	9:30
2	12:15	男	三段跳	決 勝	A Bピット	11:00	11:15
投 て き 競 技							
1	9:40	男	円盤投(1.750kg)	決 勝		8:25	8:40
2	12:30	女	やり投(0.600kg)	七種			12:20
3	14:00	女	円盤投(1.000kg)	決 勝		12:45	13:00

《検査時間》 男円盤(1.750kg) 8:10~ 8:40
 七種やり(0.600kg) 11:30~12:00
 女円盤(1.000kg) 12:30~13:00

監督・選手注意事項

1. 規則について

本大会は、2023 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 競技場について

主競技場の競走路及び助走路は全天候舗装である。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投のピンの長さは12 mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクピンの数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則 TR5を厳守されたい。

競技用シューズの靴底については競技規則 TR5(シューズ)を守る。ただしフィールド種目は除く。

3. 練習について

① 駐車場での練習は全面禁止とする。

② 公園内など競技場外での練習は全面禁止とする。

③ 競技開始前のトラック開放は9:00までとする。

④ 跳躍競技・投てき競技の本競技場での練習は、招集完了後、役員の指示に従って行うものとする。

(棒高跳を除くフィールド競技は招集完了以前には、フィールド内に入ることはできない。混成競技のフィールド種目については、競技開始の30分前から練習できる。)

4. 招集について

① 招集は招集所(競技者係)において本人が受けること。その後現地で最終チェックを行う。

② 招集場所は100mスタート地点付近のダッグアウト内に設ける。

③ プログラムの競技日程に記載の招集完了時刻に遅れた者は欠場とみなし出場を許さない。

④ 男女棒高跳の招集は競技日程記載の時間に現地で行う。

⑤ 混成競技の1日目及び2日目の最初の競技についてもプログラム記載の招集時間において招集所で行う。2種目以降の招集は競技開始時刻のトラック競技10分前、フィールド競技10分前に競技場所で行う。

⑥ 混成競技の選手控所は設けない。

⑦ 招集所では、招集時間内にチェックを受け、アスリートビブス・ユニフォーム・スパイクの点検も受ける。

⑧ 一つの種目に出場していて、他の出場種目と招集時刻が重なる場合は、招集所競技者係に申し出て了解を得る。これを怠った者は欠場とみなす。

5. アスリートビブスについて

① アスリートビブスは登録番号とし、顧問総会で配付した数字サンプルを使用して各自で作成して(男女とも黒字)アスリートビブスは2枚を胸と背につけること。ただし、跳躍競技参加の競技者は胸部または背部だけでもよい。

② アスリートビブス・腰ナンバー標識の扱いについて、次の通りとする。

	100m・200m・400m・800m・1500m・100mH・110mH・400mH 4×100mR・4×400mR・跳躍競技・投てき競技	3000m・5000m・3000mSC 5000mW
アスリートビブス	登録番号を各自で用意	レーンナンバーを主催者が用意
腰ナンバー標識	レーンナンバーを主催者が用意	レーンナンバーを主催者が用意
※トラック競技のみ	※4×100mRは4走のみ、4×400mRは2～4走のみ	

※主催者が用意した特別ナンバーカード及び腰ナンバー標識を受け取る際は各自で用意した登録番号のアスリートビブスを提示する。

③ 主催者が用意する特別ナンバーカードおよび腰ナンバー標識は、招集所でチェックを受ける際に受け取る。なお、競技終了後腰ナンバー標識、特別ナンバーカードともに返却する。また、腰ナンバー標識用も含め、安全ピンは各自で用意すること。

④ 混成競技の最終種目においては、胸に現在の順位、腰にレーン番号、背中にナンバーカードを使用する。

6. トラック競技の組・レーン順、フィールド競技の試技順について

① トラック競技の組・レーン順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムで示す。

② トラック競技の準決勝・決勝の組・レーン順は本部で抽選し、記録掲示場所に掲示する。

7. リレー競技について

① オーダー用紙(プログラム内にある)は12時以降、1組目の招集完了60分前までに招集所に提出すること。

② リレー競技に出場するチームのユニフォームは、同一チームが確認できるものとする。

③ オーダー用紙提出後競技日程記載の招集時間に4人そろって招集を受けること。

8. 写真判定・電気計時について

トラック競技においては写真判定を採用する。

9. トラック競技の準決勝、決勝進出について

800m までの種目及びリレー競技において、同タイム者(チーム)については判定写真を細部(電気計時1/1000 秒)まで読み取り着差を判定する。それでも判定できない場合は、同タイム者又は代理人によって抽選する。

10. 競技方法について

① 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は最後の一人になり優勝者が決定するまで、以下の通りである。(荒天の場合は別に掲示する)

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
男子走高跳	1m65～	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	1m98	2m01	2cm
女子走高跳	1m35～	1m40	1m45	1m50	1m55	1m59	1m635	1m66	1m69	2cm
男子棒高跳	3m50～	3m60	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	10cm
女子棒高跳	1m90～	2m00	2m20	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	10cm

※混成競技の走高跳については現地審判員の指示に従う。

② 1位及び関東大会出場を決定するためのバーの上げ・下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

③ 投てき種目の計測ラインは以下の通りである。(荒天の場合は別に指示する)

	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男子	9m00	25m00	***	35m00
女子	7m00	18m00	***	20m00

④ 男子走幅跳・女子走幅跳・男子三段跳はAピット(トラック側)、Bピット(スタンド側)で行い、トップ8も各ピットで行う。

※ 男子三段跳は12mピット、女子三段跳は9mピットを使用する。

⑤ 男子5000m、女子3000m、男子5000mW、女子5000mWのスタートは出場者数を確認して2グループに分けておこなう。

⑥ 競技運営上、男子5000mは18分、女子3000mは13分、男子5000mWは30分、女子5000mWは35分で最終周に入らなければ競技を中止する。但し、入賞者が確定していない場合はこの限りではない。

11. 用具について

投てき用具は、検査を受け承認された物に限り使用できる。ただし承認された投てき用具は、競技場の用具と同じ扱いとする。

(投てき用具は検査時間内に公式計測員の検査を受ける。検査時間については競技日程下段を参照のこと。)

なお、検査を受ける用具は日本陸連の検定品であること。

12. 入賞及び得点について

① 入賞は8位までとする。

② 得点は各種目1位8点、2位7点、……、8位1点とする。

③ 合計得点により、男女別学校順位を決定する。(同点の場合は上位種目の多い方を上位とする。)

13. 表彰について

① 各種目8位まで賞状を授与する。

② 各種目3位までに入賞した者は、競技終了後直ちに表彰を行うので、本部前に集合待機すること。なお、4位以降は表彰係まで賞状を取りに来ること。

③ 学校別表彰は、男女とも8位までとする。(閉会式内に表彰式を実施する)

14. 抗議・上訴について

競技規則 TR8にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長への抗議を口頭でなされる。裁定に不服の場合は競技者に代わる責任者が 上訴申立書と預託金 10,000 円を総務に提出する。

(抗議は正式アナウンス後、上訴は審判長の裁定確認後 30 分以内。同一日に次のラウンドが行われる種目は 15 分以内とする。)

15. 欠場について

欠場者が出た場合は、できるだけ早く競技者係に申し出ること。

16. 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。

また、ビデオ・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない(競技規則 TR6)ので、あらかじめ学校関係者に預けておくこと。

17. 警告について

- ・競技規則 CR18.5 の規定により、違反があった競技者やリレーチームにイエローカード (以下、YC) を提示し警告を与える。
- ・スタートに関しては同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCの提示の累積は、当該種目のみに適用する。

18. その他

- ① 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行う。
- ② プログラムに誤記がある場合には、速やかに本部に申し出ること。
- ③ 参加各校の補助員(1名以上)は、競技開始1時間前に本部に集合のこと。
- ④ シート・テントを張る場所は競技場の注意事項を確認すること。
各校の横断幕、のぼり等も競技場の指定された場所以外には張らないこと。応援席にテーピング・ガムテープ等を貼らないこと。
- ⑤ 大会中は競技マナーを守ること。
- ⑥ **貴重品の管理に留意すること。(※競技場で盗難が頻発している。)**
- ⑦ 決勝進出者(男子5000m、男子5000mW、女子3000m、女子5000mWは15位まで)は競技終了後、関東選抜大会出場確認用紙・冬季強化事業参加確認用紙を受け取り、1時間以内に本部に提出すること。
※本大会の成績をもとに10月21日～10月22日に埼玉県熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で行われる関東選抜大会に各種目3名(リレーは3チーム)を推薦する(混成競技は除く)。
- ⑧ 関東選抜大会申込及び代表者会議は、9月27日(水)14:30～横浜平沼高校で行う。(申込は代表者会議を兼ねるため必ず顧問が出席のこと。また、申込に顧問が欠席の場合には、関東選抜大会への出場権を辞退したものと扱う。)
- ⑨ 本大会決勝でトラック種目(リレー種目を除く)・フィールド種目で上位8位までに入賞した者は、その種目に限り令和6年度(第62回)神奈川県高等学校総合体育大会への地区予選通過の権利を得たものとする。ただし、地区予選の申し込みはするものとし、1種目1校3名以内、同一人3種目以内(リレーを除く)の出場制限は従来通りとする。令和6年度総体地区予選に本大会入賞種目を申し込まなかった場合、また申し込んで出場した場合は地区予選会通過の権利は失効したものとする。
- ⑩ 競技終了後は、速やかに競技場より退場すること。
- ⑪ ゴミは持ち帰りを原則とする。
- ⑫ **競技運営上支障がある集団応援は慎むこと。**

競技場入場について

- ・常任委員会での責任抽選の結果順で午前7時30分より入場する。7時00分より整列開始。
 - ・各校2名以内で整列し入場を行うので競技役員の指示に従うこと。
 - ・上記の2名が別々の場所をとることは禁止とする。
- ※ 常識を逸脱した時間に生徒が集合しないように各校で責任を持つての指導をお願いします。
- ※ 競技場の開門は4日間とも7時30分(予定)とする。

☆ 安全対策について

- ・競技会に参加の選手、競技役員、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・本競技場、補助競技場では決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。
- ・周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先する。
- ・トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行う。
- ・ウォーミングアップの際、事故防止の為に、必要な声の掛け合いを行う。
- ・投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・投てき物(やり等)の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・チューブ、マーカー、メディシンボール等の器具を使用しての練習は安全面から行わない。
- ・跳躍競技での「後追い助走」は危険防止のため禁止とする。

レーン侵害による失格について (競技規則TR17.4.3/17.4.4)

- (ア) レーンで行うすべてのレースの曲走路で、左側の白線や縁石に2回(2歩)以上触れた場合や1回(1歩)踏み越えた場合。
- (イ) オープンで行うすべてのレース(一部セパレートのレースも含む)の曲走路で縁石の内側に2回(2歩)以上踏んだり完全に入った場合
- ※同一種目でラウンドをまたいだり、リレー種目の別の走者による2回目も含む。
- ※1回目のリザルトの当該選手の横にLマークを表示する。